

全肢梨第5号  
令和8年（2026年）5月1日

全国肢体不自由研究協議会  
北海道・東北地区代表  
秋田県立秋田きらり支援学校長 様  
東京地区代表  
東京都立花畑学園長 様  
東京都立府中けやきの森学園長 様  
中部地区代表  
石川県立小松瀬領特別支援学校長 様  
近畿地区代表  
京都府立丹波支援学校長 様  
中国・四国地区代表  
徳島県立ひのみね支援学校長 様  
九州地区代表  
福岡県北九州市立八幡西特別支援学校長 様

第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会実行委員長  
山梨県立甲府支援学校長 相山 洋幸  
< 公 印 省 略 >

第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会の一次案内について（依頼）

新緑の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。  
さて、第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会につきまして、下記の文書を送付します。各地区の学校につきましては、貴校より御案内いただきますよう、よろしくお願ひします。

記

- 1 各校宛て文書（各地区内）
- 2 一次案内

第72回全国肢体不自由教育研究協議会  
山梨大会事務局（山梨県立あけぼの支援学校）  
教頭：水越 佳代  
教諭：村松 竜  
Mail：zenshi-yamanashi@akebonoy.kai.ed.jp  
TEL：0551-22-6131

事 務 連 絡  
令和8年（2026年）5月1日

各肢体不自由特別支援学校長 様

第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会実行委員長  
山梨県立甲府支援学校長 相山 洋幸  
< 公 印 省 略 >

第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会の一次案内について（依頼）

新緑の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会につきまして、下記の文書を送付しますので、御確認ください。分校または分教室のある学校につきましては、貴校より御案内いただきますよう、よろしく申し上げます。

記

1 一次案内

第72回全国肢体不自由教育研究協議会  
山梨大会事務局（山梨県立あけぼの支援学校）  
教頭：水越 佳代  
教諭：村松 竜  
Mail：zenshi-yamanashi@akebonoy.kai.ed.jp  
TEL：0551-22-6131

事 務 連 絡  
令和8年（2026年）5月1日

各 位

第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会実行委員長  
山梨県立甲府支援学校長 相山 洋幸  
＜ 公 印 省 略 ＞

第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会について（御案内）

新緑の候 皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記の会につきまして、下記のとおり開催しますので御案内申し上げます。

つきましては、事前の大会参加者数把握のため、下記の URL または QR コードから大会出席の仮申請をお願いします。

記

- 1 日 時 令和8年（2026年）11月25日（水）から11月27日（金）まで
- 2 会 場 山梨県立図書館 （25日、26日）【校長会、分科会】  
YCC県民文化ホール（26日）【全体会、ポスター発表、分科会】  
やまなしプラザ （26日）【分科会】  
山梨県立甲府支援学校（27日）【学校公開】
- 3 内 容 大会開催要項を御参照ください。
- 4 参加申込 大会参加者を事前に把握するため、次の URL また QR コードにアクセスいただき、仮申請フォームに必要事項を御入力ください。  
＜ 申 込 締 切 日 ＞ 令和8年（2026年）6月19日（金）  
＜ 参加申込フォーム ＞ <https://forms.office.com/r/ihvpA2mt27>

QR コード



- 5 そ の 他 本申請は8月以降に大会 WEB ページからの申請を予定しています。  
詳しくはおって連絡します。  
大会開催要項に記載しているシャトルバス代金は、利用数に応じて変更します。本申請までには代金を確定して連絡します。

第72回全国肢体不自由教育研究協議会  
山梨大会事務局（山梨県立あけぼの支援学校）  
教頭：水越 佳代  
教諭：村松 竜  
Mail：zenshi-yamanashi@akebonoy.kai.ed.jp  
TEL：0551-22-6131

# 第72回 全国肢体不自由教育研究協議会

## 第63回 関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会

### 山梨大会(1次案内)

主催 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会  
共催 関東甲越地区肢体不自由教育研究協議会  
山梨県特別支援学校研究会  
主管 関東甲越地区特別支援学校肢体不自由教育校長会  
後援 文部科学省 山梨県教育委員会  
山梨県高等学校長協会 全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会山梨支部(予定)

1 大会主題 「肢体不自由教育の充実をととした共生社会形成の推進」  
～ウェルビーイングの向上を目指した子供主体の深い学びの充実～

2 期 日 令和8年11月25日(水)～27日(金)

3 会 場 山梨県立図書館 山梨県甲府市北口2丁目8-1 055-255-1040  
YCC県民文化ホール 山梨県甲府市寿町26-1 055-228-9131  
やまなしプラザ 山梨県甲府市丸の内1-6-1 050-5846-2962  
山梨県立甲府支援学校 山梨県甲府市下飯田2丁目10-3 055-226-3322

4 日 程

【1日目】11月25日(水)

12:30~13:00	13:00~13:45	13:30~14:00	14:00~16:00	16:10~17:00
代表校長 受付	代表者 研究協議会	校長会 受付	校長会 全体研究協議会	分科会 運営打ち合わせ
山梨県立図書館				山梨県立図書館 YCC県民文化ホール やまなしプラザ

【2日目】11月26日(木)

9:00~ 9:30	9:30~ 10:00	10:00~ 10:05	10:05~ 10:55	10:55~ 11:05	11:05~ 12:00	12:00~ 12:10	12:10~ 13:00	13:00~ 14:40	14:40~ 17:00
受付	大会 開会式	プレゼン カップ情報	文部科学省 講話	休憩	記念 講演	諸連絡	ポスター発表	昼食 移動	分科会
YCC県民文化ホール								山梨県立図書館 YCC県民文化ホール やまなしプラザ	

【3日目】11月27日(金)

7:50	8:30~ 9:20	9:30~10:10	10:20~11:05	11:10~ 11:30	11:35~12:05	12:20
バス 発車	受付	学校概要・研究説明	公開授業	教材等 展示見学	講評 閉会式	バス 発車
山梨県立甲府支援学校						

5 記念講演 講師 田村 康二郎 (東京都立光明学園 初代校長)  
(特別支援教育アドバイザー)  
演題 「肢体不自由教育の創始と充実の歴史から学ぶ」

6 組 織	実行委員長 副実行委員長兼事務局長 副実行委員長 大会事務局 WEB申込等	相山 洋幸(山梨県立甲府支援学校長) 中込 昭彦(山梨県立あけぼの支援学校長) 小林 健(山梨県立ふじざくら支援学校長) 山梨県立あけぼの支援学校 旅行者:株式会社 日本旅行 甲府支店
-------	---	--

7 費 用	(予定)		
個人参加費	6,000円	昼食(お茶付)	1,500円(希望者)
シャトルバス(往復)	1,500円		

## 8 アクセス

### <YCC県民文化ホール>

- ・JR甲府駅南口から徒歩で約20分
- ・JR甲府駅南口から山梨交通バス「県民文化ホール前」下車
- ・JR甲府駅南口からタクシーで約5分

### <山梨県立図書館>

- ・JR甲府駅北口から徒歩で約3分

### <やまなしプラザ>

- ・JR甲府駅南口から徒歩で約7分

### <山梨県立甲府支援学校>

#### 【シャトルバス】

- ・往路：JR甲府駅から甲府支援学校周辺まで
- ・復路：甲府支援学校周辺からJR甲府駅まで

※11月27日(金)はJR甲府駅からシャトルバスを運行しますので、参加の場合にはシャトルバスの利用をお願いいたします。

#### 【公共交通機関】

- ・JR甲府駅南口から山梨交通バス「長松寺町バス停」(乗車時間9~10分)下車 徒歩10分程度

## 9 分科会

別紙一覧で御確認ください。

## 10 その他

### 【連絡・問合せ電話番号】 山梨県立あけぼの支援学校

担当者： 教頭 水越佳代 教諭 村松 竜

住 所： 〒407-0046 山梨県韮崎市旭町上條南割3251-1

TEL： 0551-22-6131

FAX： 0551-22-6628

E-mail：[zenshi-yamanashi@akebonoy.kai.ed.jp](mailto:zenshi-yamanashi@akebonoy.kai.ed.jp)

### 【大会ホームページ】URL <https://zenshi-yamanashi2026.asfsite.jp/>

大会申込等はWEB上(業者委託)で行います。

## 別紙

## 第72回全国肢体不自由教育研究協議会山梨大会 分科会一覧

	分科会名	観 点	助言者
1	授業改善	学校で開発した授業研究の実践紹介やその成果の共有をとおして、各学校の授業改善を図る。	筑波大学・上野学園短期大学 非常勤講師 元文部科学省特別支援教育調査官 下山 直人 様
2	学習指導Ⅰ (準ずる教育課程)	個別の指導計画や授業計画、授業の工夫の実践紹介をとおして、準ずる教育課程(訪問教育含)の教科について、学習指導の充実を図る。	前日本体育大学 体育学部 教授 長沼 俊夫 様
3	学習指導Ⅱ (知的代替の教育課程)	個別の指導計画や授業計画、授業の工夫の実践紹介をとおして、知的代替の教育課程(訪問教育含)の領域・教科等について、学習指導の充実を図る。	山梨大学 教授 吉井 勘人 様
4	学習指導Ⅲ (自立活動を主とする教育課程)	個別の指導計画や授業計画、授業の工夫の実践紹介をとおして、自立活動を主とする教育課程(訪問教育含)の学習指導の充実を図る。	文教大学 准教授 北川 貴章 様
5	自立活動	教育課程、指導計画及び外部専門家との連携を含め、自立活動の時間の指導や教育活動全体を通じて行う指導の実践紹介をとおして、各学校の指導等の専門性向上を図る。	国立特別支援教育総合研究所 研修事業部 上席総括研究員(兼)部長 吉川 知夫 様
6	健康教育	医療的ケア及び食育を含め、健康教育推進にかかわる取組や実践紹介をとおして、指導等の専門性向上を図る。	山梨県立 あけぼの医療福祉センター 所長 畠山 和男 様
7	情報教育・ 支援機器の 活用	効果的な情報教育の授業実践、自立と社会参加につながる支援機器活用の実践紹介をとおして、各学校の授業改善を図る。	国立特別支援教育総合研究所 研修事業部主任研究員 杉林 寛仁 様
8	生活指導・ 寄宿舎教育	寄宿舎教育の指導実践を含め、肢体不自由校全般の生活指導実践の紹介をとおして、学習指導以外の指導面を補完し、生活指導の充実を図る。	都留文科大学 特任教授 山本 剛 様
9	キャリア教育 及び 進路指導	キャリア教育及びキャリア形成を踏まえた進路指導の視点の共有をとおして、各学校の指導の充実を図る。	日本福祉大学 教授 社会福祉法人睦月会 理事長 綿 裕二 様
10	地域との連携	地域という視点からの支援機能の発揮や小・中学校等と進める交流及び共同学習の工夫、個別の教育支援計画の活用等の共有をとおして、各学校の機能向上を図る。	横浜国立大学 教授 徳永 亜希雄 様